

日本 ESD 学会第 1 回近畿地方研究会 自由研究発表

2018 年 2 月 12 日 (月・祝) 14 時 30 分～16 時 50 分 @奈良教育大学

口頭発表 (A～F 分科会)・ポスター発表があります。発表者は発表概要 (メールでもお送りしています) を精読し、これに必ず従ってください。口頭発表は、1 発表あたり持ち時間 20 分 (発表 15 分、質疑応答・コメント 5 分) で行います。会場スタッフが、発表終了 5 分前、3 分前、発表終了時刻にベルを鳴らします。発表終了時刻には、発表の途中であっても直ちに終了をお願いしますので、ご了承ください。

◆ A分科会：104教室

司会：岩本 渉 (アジア太平洋無形文化遺産研究センター)
西口美佐子 (奈良市立平城西小学校)

- 1) 世界遺産学習だけにとどまらない身近な地域の学び方 —こだわり・価値を見出すフィールドワーク—
吉田 寛 (奈良教育大学附属中学校)
- 2) 地域の文化遺産の持続性について考える —都(み)跡(あと)今昔マップの実践を通して—
三木恵介 (奈良市立都跡小学校)
- 3) 3D デジタル計測技術の文化遺産教育への利用と意義
佐野宏一郎 (奈良教育大学・院)
- 4) 地域に忘れ去られた文化遺産を教材に —西方院山城から—
北村恭康 (御所市教育委員会)
- 5) 持続可能な開発における文化遺産教育の意義 —SDGs と文化—
岩本 渉 (アジア太平洋無形文化遺産研究センター)

◆ B分科会：105教室

司会：関 隆晴 (大阪教育大学・名誉教授)
田淵五十生 (奈良教育大学・名誉教授)

- 1) これからの ESD の方向性に関する一考察 —SDGs への教育的アプローチとしての ESD—
中澤静男 (奈良教育大学)
- 2) 未曾有の激しい変化の時代に求められる ESD —近未来を生きる大人の育成—
関 隆晴 (大阪教育大学・名誉教授)
- 3) ESD 国際共同プロジェクト実施における OTA の可能性
—「ICAN ノーベル平和賞受賞記念折り鶴プロジェクト」の経験より—
壺井宏泰 (兵庫県立北須磨高等学校)
- 4) ESD にいたる歴史的経緯と現代的課題 —『沈黙の春』から『ハチドリのひとつづく』まで—
田淵五十生 (奈良教育大学・名誉教授)

◆ C分科会：203教室

司会：後藤田洋介 (東京学芸大学こども未来研究所)
中西一成 (猪名川町立六瀬中学校)

- 1) SDGs を学校文化に根付かせるために —ふるさとづくり構想図として—
中西一成 (猪名川町立六瀬中学校)
- 2) 新美南吉の『ここが大好き!』コレクションを次世代へ繋ごう —新美南吉の日記から—
石田通大 (奈良市立済美小学校)
- 3) ESD の視点を取り入れた音楽科教育の実践的研究
—たてわり班による「チャイムづくり」の学習を通して—
山本香織・田村 亮 (大阪市立北津守小学校)
- 4) 理科における ESD 実践に関する研究 —ESD と理科の目標の比較から—
後藤田洋介 (東京学芸大学こども未来研究所)
- 5) 持続可能な社会に向けた科学コミュニケーションと ESD
—科学リテラシーの視点から見たスウェーデンの環境教育の事例より—
高橋尚也 (日本科学未来館・Linköping University, Sweden.)

◆ D分科会：204教室

司会：清野未恵子（神戸大学）
山方貴順（奈良市立都跡小学校）

- 1) 生物多様性保全の体制構築における ESD の有用性について
ー竹生島タブノキ保全の参加意識向上に向けた取組事例ー
赤石大輔（(一社) コミュニケーションデザイン機構）
- 2) 未来につながる平城っ子の木づかい ー小学校 5 年生の実践による考察ー
新宮 済（奈良市立平城小学校）
- 3) ブランド化に着目した世界農業遺産の単元開発 ー世界農業遺産「清流長良川の鮎」を事例としてー
山方貴順（奈良市立都跡小学校）
- 4) 豊かさに焦点を当てた持続可能な社会の創り手を育成する社会科
ー小学校 5 年生社会科「これからの食料生産」を題材にー
大西浩明（奈良市立飛鳥小学校）

◆ E分科会：205教室

司会：河合摩香（奈良市立佐保小学校）
河本大地（奈良教育大学）

- 1) ESD 佐保川流域プロジェクト ー平城山ランドスケープ創出の取り組みー
竹村景生（奈良教育大学附属中学校）
- 2) 環境教育等促進法に基づく中間支援拠点による協働取組推進の支援
ー多様な主体による交流の場と ESD 関係主体の関わりー
田中拓弥（(一社) コミュニケーションデザイン機構）
- 3) ESD 子どもキャンプに参加した学生の学びの分析 ーレポートの分析結果を用いてー
糸 綾香（奈良教育大学・院）
後藤田洋介（東京学芸大こども未来研究所）・中澤静男（奈良教育大学）
- 4) 大学生に「身近な地域」の調査とウィキペディア編集の経験を！ ー奈良のならまちでの実践からー
河本大地（奈良教育大学）

◆ F分科会：206教室

司会：河野晋也（奈良教育大学附属小学校）
島 俊彦（大和郡山市立郡山西小学校）

- 1) ESD と道徳教育 ー主体的に価値を選ぶ力を育む「深い学び」の実践からー
小嶋祐伺郎（奈良教育大学附属中学校）
- 2) 社会力形成を目指した総合的な学習の時間についての一考察 ー川上村に学ぶ持続可能な水の流し方ー
島 俊彦（大和郡山市立郡山西小学校）
- 3) 批判的思考力の育成によるアイデンティティ構築 ー小学校社会科の ESD 実践をもとにー
河野晋也（奈良教育大学附属小学校）
- 4) 「天城学習」を通して生徒の自尊感情を高める ー伊豆市立天城中学校の ESD 実践からー
大塚 明（ESD-J 理事（元天城中学校校長））

◆ ポスターセッション：201教室 14時55分～15時25分

○奈良教育大学 ESD ワークショップ 2017 実践報告 ーOOBR における ESDー

石田正樹（奈良教育大学）・松井 淳（奈良教育大学）・辻野 亮（奈良教育大学）
岡村泰斗（backcountry classroom Inc., Wilderness Education Association Japan）

○物事のつながりを意識した ESD 研究 ー川上村観察・体験の経験からー

藤本七彩・梶谷和秀・馬 鵬飛（奈良教育大学・学）

○ESD の視点で考える日本の中山間地域の危機と対策

阿部孝哉（奈良教育大学・学）

○自然の恩恵の感受とマインドマップの作成の経験を

ー川上村エコツアーの経験からのマインドマップ作成を通してー

石本浩暉（奈良教育大学・学）

○マッピングから見る自分と川上村のつながり ー川上村でのフィールドワークからー

山田つきみ（奈良教育大学・学）